

「夏の風物詩 そうめん流し」

8月9日に毎年恒例のそうめん流しをして夏の気分を味わいました。朝からバタバタと準備に走り回る職員の姿を見て、入居者の皆さんは何が始まるのだろうと不思議そうに見ています。「何か手伝いましょうか〜？」と、心配してくれる方まで…。何とか準備ができ、いざ「そうめん流し」開始！初めは何が何だか分からずにいた皆さんも、そうめんが流れてくるのを見て「わあ〜」と、子どものような笑顔に。次々と立ち上がり、流れてくるそうめんをすくっては「おいしい〜」と喜んで食べられ、ご自分で取れない方には職員がそうめんをお椀に入れるとぺろっと召し上がり、あちらこちらから「お





かわり！」と声上がり、流す係の職員は本当に大変だったろうと思います。普段はあまり飲むことのないビールや梅酒（もちろんノンアルコールですが）で乾杯し、皆さん大満足だったようです。

コロナ禍で外出、外食がなかなかできず、楽しみが減っている中、少しでも「楽しい」と思っただけけるよう、これからもいろんなことを計画していきたいと思います。次回はお寿司パーティー。皆さんの喜んでいる顔、驚く顔を思い浮かべながら、今からニヤニヤしているのです。